記者発表資料

令和４年１０月　７日
国　土　交　通　省
岩手河川国道事務所
八　幡　平　市

「（仮称）八幡平スマートインターチェンジ」連結許可書※資料2の伝達式を開催します

～観光振興や救急医療への貢献に期待～

１.概要

令和４年９月２２日、国土交通大臣より東北縦貫自動車道弘前線（松尾八幡平ＩＣ～安代ＩＣ間）と市道スマートインターチェンジ上り線及び市道スマートインターチェンジ下り線との連結が許可されました。

このたび、岩手河川国道事務所長から八幡平市長へ「（仮称）八幡平スマートインターチェンジ連結許可書」の伝達を行いますので、お知らせします。

２.連結許可書伝達式の内容

１）日　　時：令和４年１０月１２日（水）１４時００分～
２）場　　所：八幡平市役所ホール棟　多目的ルーム２
３）出 席 者：国土交通省　岩手河川国道事務所長
　　八幡平市　　八幡平市長
４）次　　第：・連結許可書伝達
　　・写真撮影
　　・挨拶　　国土交通省　岩手河川国道事務所長
　　八幡平市　　八幡平市長

＜発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北建設専門紙記者会＞

（お問い合わせ先）
【連結許可書伝達式に関すること】
国土交通省　東北地方整備局　岩手河川国道事務所
調査第二課長　鈴木（すずき）　成伸（せいしん）　TEL　019-624-3196（直　通）

【（仮称）八幡平スマートインターチェンジに関すること】
八幡平市　建設課　建設課長　工藤（くどう）　剛（つよし）　TEL　0195-74-2111(内線1290)

スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

資料１

■東北自動車道　八幡平（はちまんたい）スマートIC（仮称）

＜概　　要＞

路 線 名　：　東北縦貫自動車道弘前線
（松尾八幡平（まつおはちまんたい）IC～安代（あしろ）IC間）

設置場所　：　岩手県八幡平（はちまんたい）市

接続形式　：　本線直結型

形　　式　：　全方向（4/4）

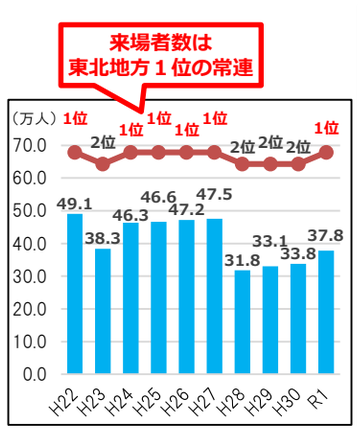
運用形態　：　全車種　24時間

＜位 置 図＞



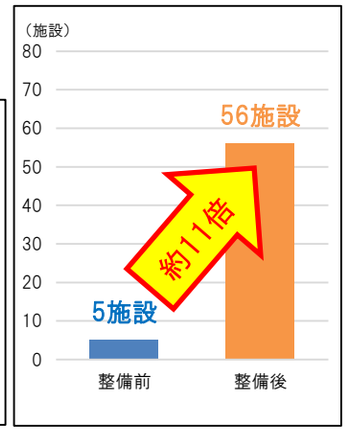
整備効果　観光振興

・スマートICの整備により、東北地方を代表する安比高原エリアへの観光客の利便性が向上。
・観光消費額の拡大による、地域経済全体のさらなる活性化が期待される。



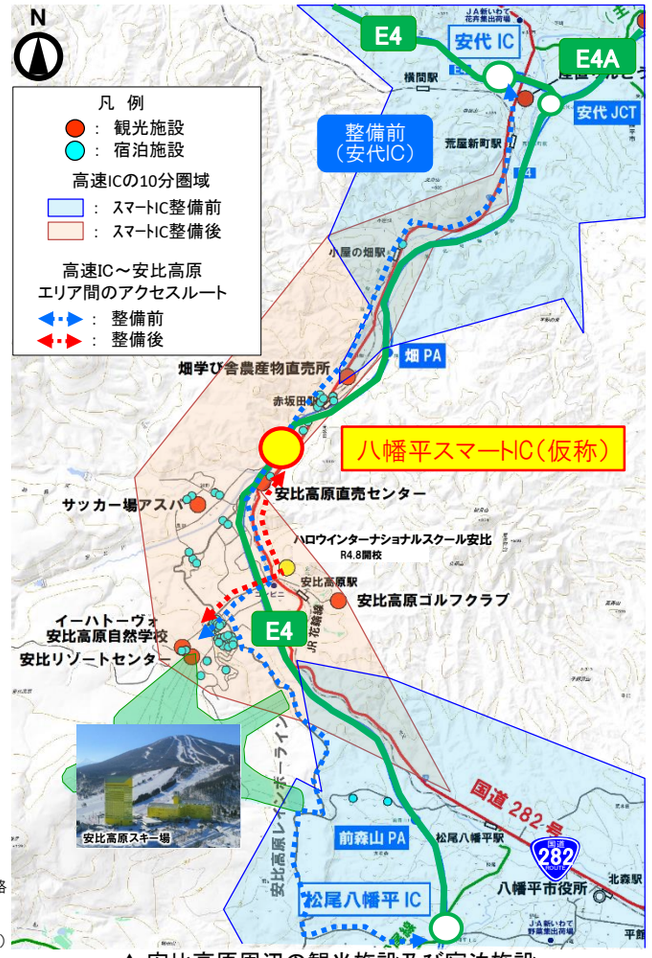
▲ 安比高原スキー場の来場者数と東北地方における順位

出典：各県観光統計データより作成



▲高速ICから10分圏域内の宿泊施設

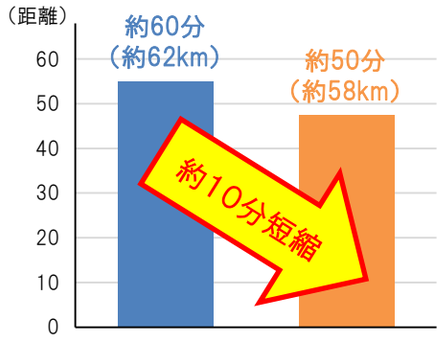
出典：
・宿泊施設－八幡平市観光協会
・高速ICから10分圏域－平成27年度　全国道路・街路交通情勢調査の昼間12時間旅行速度より算出
（整備前：松尾八幡平IC、安代IC
整備後：松尾八幡平IC、八幡平スマートIC、安代IC）



▲ 安比高原周辺の観光施設及び宿泊施設

整備効果　救急医療への貢献

・無医地区から岩手医科大学附属病院（三次救急）へのアクセス時間短縮など、切れ目のない医療提供体制維持への貢献が期待される。



▲ 細野地区（無医地区）～岩手医大（三次救急医療施設）までの所要時間

出典：平成27年度　全国道路・街路交通情勢調査の昼間12時間旅行速度より算出



▲八幡平市内における岩手医大（三次救急医療施設）からの1時間カバー圏域

（参考）スマートインターチェンジの検討・整備について

資料2

○ スマートICの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査（直轄調査）を実施（準備段階調査）。
○ 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。

地方での計画検討・調整

広域的検討
・ＩＣの必要性
・周辺道路の現況・整備方針の確認　等

概略検討
・ＩＣの社会便益及び利用交通量
・ＩＣの位置・構造
・周辺道路の整備計画　等

詳細検討
・ＩＣ及び周辺施設の詳細設計
・整備費用及び負担区分
・管理・運営方法　等

地区協議会の開催　（国・会社・地方自治体）
実施計画書の策定・提出　（地方自治体→国・機構・会社）

新規事業化　（国）
整備計画決定　（国）
連結許可　（国→地方自治体）

開　通

地方自治体での検討
（地整、会社で適宜応相談）

ICの必要性等の確認

準備会

国による準備段階調査
（直轄調査）

地区協議会

（事業実施）

国による整備補助
（機構への補助）